

## 第2版の序

本書は、ビジュアル実践リハシリーズの1つとして2012年に初版が出版された。カラー写真を多用して、箇条書きを基本とした簡潔な解説を特徴としており、読者にとって、読みやすく、理解しやすい内容であり、当時としては斬新で画期的な書籍であったように思う。

早いもので、本書の初版が発刊され11年が経過し、この間に脳・神経系リハビリテーションに関するさまざまな研究成果や新しい知見が数多く出されてきた。それに伴って、各疾患の診療ガイドラインは、それぞれ内容がアップデートされている。たとえば、脳卒中治療ガイドラインでは、2015年、2021年、2023年に順次改訂が行われてきた。また、理学療法の分野では、理学療法ガイドラインの初版が2011年に、第2版が2021年に発行されている。

今回の改訂では、こうした状況をふまえて、本書の基本コンセプトは維持することとし、各種診療ガイドラインの改訂内容やその他の新しい知見を反映させることとした。また、新たな執筆者を加えて「高次脳機能障害」の項目を追加し、「画像評価」の内容もより充実したものとなっている。

本書で取り上げた疾患は、いずれもリハビリテーション医療の対象として、私たちがしばしば遭遇するものばかりであり、「疾患ごとに最適なりハの手技と根拠がわかる」という書名の副題にあるように、きわめて実践的な解説書と言える。多くの皆様に、本書を通じて臨床におけるスタンダードな考え方やより実践的な介入方法をぜひ身につけていただきたいと願っている。

引き続き、読者の皆様から忌憚のないご意見やご指摘を賜りますようお願い申し上げます。次第である。

2024年1月

潮見泰藏